

# 第5章 1

## かな き も 悲しい気持ち, こわい気持ち

副読本 44 - 47 ページ

年 組 番 名前

1

「みんながいたからがんばれた」を読んで思ったことや考えたことを書きましよう。

---



---



---



---



---



---



---



---

### みんながいたからがんばれた

水がのみたいな のどがかわいたな

でも水道から水はでない

ジュースもむぎ茶もない

ほくの水どうに水がちよっぴり

「ほくにもちょうだい。」

友だちが言っている

「いいよ ちょっとずつ分けようね。」

こくり

すぐまたのどがかわいたよ

おなかすいたな 何か食べたいな

でもごはんもパンもない

おせんべい 1 まいをみんなで分けた

パリッ

おなかいっぱいにならないや

うちに帰りたいな

でも帰れない

外は水でいっぱい

学校の児童クラブの子どもたち

ひなんしてきた人が百人

ぎゅっ

手をつよくぎってがまんしたよ

しんざいの夜

音楽室でみんなとすごした

遠くの空が赤くもえる

夜なのに

石巻の空は真っ赤だ

たて物からほのおが上がって

ほのおは黒い黒い水をてらす

今も思い出す あの夜

みんなで分けた水やおやつ

みんなでいたから

がんばれた あの夜

